オープンソースソフトウェアの利用と勘所【会場・オンライン同時開催】（4122102）

低コストでITシステムを構築できるとあって、オープンソースソフトウェアの利用が拡大しています。急速な技術発展もオープンソースソフトウェアの利用を促しています。一方で、サポートが得にくい、社内にスキルがない、継続性が心配、といった様々な課題があるのも事実です。本セミナーでは、企業でも活用が広がっている代表的なオープンソースソフトウェア群を解説します。またオープンソースソフトウェアを利用するにあたって課題となるポイントを整理し、解決策を学びます。

開催日時	2022年11月11日(金) 10:00-17:00
カテゴリー	IS導入（構築）・IS保守 専門スキル
DXリテラシー	How(データ・技術の活用)：活用方法・事例
講師	澤橋松王 氏 （キンドリルジャパン株式会社　執行役員　最高技術責任者 ） チーフアーキテクトとして数々のクラウドプロジェクトのRFP作成を支援。IBMのクラウドサービス立ち上げを推進。 2021年9月より現職。 日本情報システム・ユーザー協会　非常勤講師 個人事業主（作家） 主な資格： TOGAF9、The Open Group Distinguished IT Architect
参加費	ＪＵＡＳ会員/ITC：33,800円 一般：43,000円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み） 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋堀留町2丁目ビル2階）
対象	オープンソースソフトウェアの利活用を検討されているユーザー企業のご担当者 中級
開催形式	講義・個人演習
定員	25名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
特記	・お申込み後マイページより受講票をダウンロードして内容をご確認ください。 ・オンラインにてご参加の方も、演習や質疑応答でマイクを利用することがあります。ご発言いただける環境にてご参加ください。
ITCA認定時間	6

主な内容

■受講形態
【選べる受講形態】
A. 会場にてご参加：【Co-lab-po（2 階会議室）施設利用にあたっての取り組み】
B. オンラインにてご参加：【セミナーのオンライン受講について 】
■テキスト
A. 会場にてご参加：当日配布
B. オンラインにてご参加：開催７日前を目途に発送（お申込時に送付先の入力をお願いします）
※開催７日前から開催前日までにお申込の場合、テキストの送付は開催後になることがあります。ご了承ください。
■開催日までの課題事項
特になし

第１部 企業利用が広がるオープンソースソフトウェア

・代表的なオープンソースソフトウェア
－データベースソフトウェア（MySQL/PostgreSQL）
－アプリケーションサーバ（Nginx/Jboss）
－ネットワーク管理（Vyatta/OpenvSwitch）
－クラウド管理（OpenStack）
－コンテナ管理（Kubernets/Mesos）
－分析エンジン（Hadoop）

－ソース管理（Git）
－ジョブ管理（Hinemos/JobScheduler/Kuroko2）
－運用・管理（Zabbix/Redmine）
－コミュニケーション（Slack）

第２部 オープンソースソフトウェアのメリットと課題

・オープンソースソフトウェアの概要
・オープンソースソフトウェアのライセンス
・オープンソースソフトウェアのメリット
・オープンソースソフトウェアの課題

第３部 オープンソースソフトウェアを活用するためのポイント

・オープンソースソフトウェアのサポート
・オープンソースソフトウェアのスキル
・オープンソースソフトウェアのライフサイクル

＜参加者の声＞
・エンタープライズ向けのOSS利用動向について、事例を交えて学ぶことができた。